生活保護における3つの自立支援とその推進に向けた研修

SB0s	科目及び講義課題	講師名	時間数		
			集合	オンライン	遠隔
1. 要保護層への自立支援に関する政策の動向・展開を説明できる。	1. 自立支援研修の意義・目的と課題 1) 生活保護制度・自立支援の動向と課題 2) 自立支援の基本的視点 3) 生活困窮者自立支援制度と生活保護制度の動向と課題	外部講師（厚労省） 外部講師 外部講師（厚労省）	A 0.75 A 0.7 A 0.75		
2. 自立支援を担う人材の育成において不可欠な自立支援の視点、基本的なスキルについて説明できる。	2. 自立支援スキル向上に向けた研修手法 1) 基本的コミュニケーション技法 2) アセスメントからサービス・社会資源（プログラム）につなぐためのスキル 3) 自立支援に関する現状と課題の共有	外部講師 外部講師 院内講師	B 1.0 B 1.2 B 1.5		
3. 自立支援プログラムの運営における地域との連携の意義・課題を職場内外で可視化・共有化する手法を実践できる。	3. 地域連携にもとづく自立支援プログラムの意義・課題の可視化 1) 社会資源との連携・協働の推進の考え方と方法①（地域での協働の意義の共有化） 2) 社会資源との連携・協働の推進の考え方と方法②（連携先の洗い出しと開拓）	外部講師 外部講師	B 0.8 B 1.5		
4. 地域の多様な社会資源（関係機関・職種・団体等）と連携した効果的な事業運営について、企画を具体的に立案することができる。	4. 社会資源と連携した効果的な事業運営 1) 実践報告その1 2) 実践報告その2 3) 実践報告その3 4) 実践報告の共有・まとめ 5) 事業運営の企画案の作成 6) 事業運営の企画案の共有	外部講師 外部講師 外部講師 院内講師 院内講師 院内講師	A 0.5 A 0.5 A 0.5 B 1.0 B 2.7 B 1.3		
5. その他	5. その他 1) 研修導入のグループワーク 2) 前日の振り返り 3) 研修のまとめと振り返り	院内講師 院内講師 院内講師	B 1.5 B 1.0 E 0.8		
時間数	小計		18.0		
	集合	A 3.7 B 13.5 C 0.0 D 0.0 E 0.8		合計	18.0
	オンライン	A B C D E			
	遠隔	A B C D E			

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他、修了時評価等（オリエンテーション、開講式・閉講式は除く。）

遠隔は、遠隔システムを利用し、予習・復習を行うもの（事前課題は除く。）